

# LEDセンサーライト

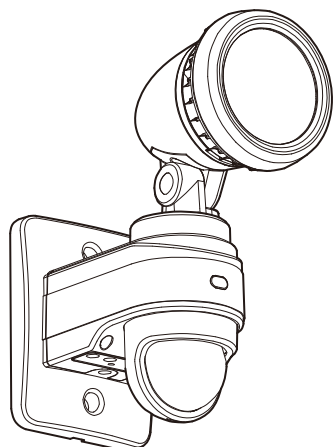
電源 AC100V (50/60Hz)

<防沫型<sup>(※)</sup>>

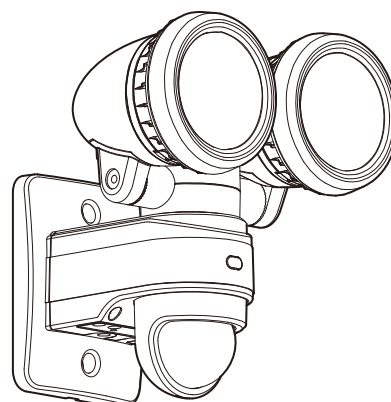
このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

保証書付

## 1灯型 DSL10B1



## 2灯型 DSL10B2



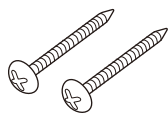
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

(※)防水性能：IP44(防沫型)

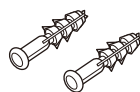
### もくじ

	ページ		ページ
安全上のご注意	2	<b>6</b> 動作テスト	6
<b>1</b> 各部の名称	3	<b>7</b> 点灯時間・点灯開始照度・連続点灯の設定	6
<b>2</b> 取付場所を決めるときの注意	3	<b>8</b> 故障と判断する前に	7
<b>3</b> 本体を取り付ける	4	<b>9</b> 仕様	8
<b>4</b> 検知エリアを調節する	5	<b>10</b> 外形寸法	8
<b>5</b> 調整方法	5	保証書	8
センサー部の調整	5		
ライト部の調整	5		

### ■付属品



壁面取付用ネジ  
【2本】



コンクリートアンカー  
【2本】



取扱説明書  
【1部】

#### 別売品 取付金具：DSL10Z01B

※ポールや柱、カーポートの支柱、ベランダの手すりなどに取付けるためには、この取付金具をご使用ください。

- |                  |                    |             |
|------------------|--------------------|-------------|
| ・ブラケット(1個)       | ●バース取付金具(1セット)     | ●ポールバンド(1本) |
| ・ブラケット用ゴムカバー(1個) | ・バース取付バー用ゴムカバー(2個) |             |
| ・ブラケット取付用ネジ(4本)  | ・バース取付用バー(1個)      | ・L字金具(1個)   |
|                  | ・L字金具用キャップ(1個)     | ・蝶ナット(1個)   |

**■安全上のご注意** お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

**警告** 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

**注意** 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

	一般的な注意事項		接触禁止		指示を守る		プラグを抜く
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		

**警告**

センサーライトを包装しているポリ袋は、乳幼児の手の届くところに置かない  
頭からかぶると窒息など死亡の原因となります。

指定された電源(AC100V 50/60Hz)以外は使用しない  
火災・感電・故障の原因となります。

ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間ライト部は熱くなっていますので絶対に素手で触れない  
やけどの原因となります。

電源工が必要な場合は、電気工事が行える販売店か電気工事店に依頼する  
電気工事士の資格がない場合、電気工事をするのは、法律で禁止されています。

高所などでは足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策を行なう  
落ちたり滑ったりしてけがの原因となります。

コンセントは、屋外型を使用する  
屋外で屋内用のコンセントを使用すると、漏電や感電の原因となります。

分解、改造、修理はしない  
また、ライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけない  
感電・火災・故障の原因となります。  
故障した場合はご購入店に修理を依頼してください。

下記のような場所に設置しない  
・わらびき屋根の軒下など可燃物が近くにある場所。  
・ベランダ等、洗濯物や布団などがこの製品に触れるおそれのある場所。  
・風により可燃物が飛んできてこの製品をおおうおそれのある場所。

万一、本製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態に陥った場合、そのまま使用しない  
火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してからご購入店に相談してください。

お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、消灯後温度が十分下がった後行なう  
感電・やけどの原因となります。

取付後、しっかり固定されているか、また、ときどきぐらつきがないか確かめる  
固定が不十分な場合、落下して、けが、感電、故障の原因となります。

電源コードの上にものを載せたり、コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する  
ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグをコンセントに抜き差ししない  
感電、漏電、故障の原因となります。

雷が発生しているときは、設置工事をしたり、この製品に触れない  
感電、けがの原因となります。

点灯しているライトを直接見ない  
視力障害の原因となります。

**注意**

大量の水がかかるような場所には取り付けない  
本製品は防沫構造です。通常の雨風には耐えますが、防水型ではありません。

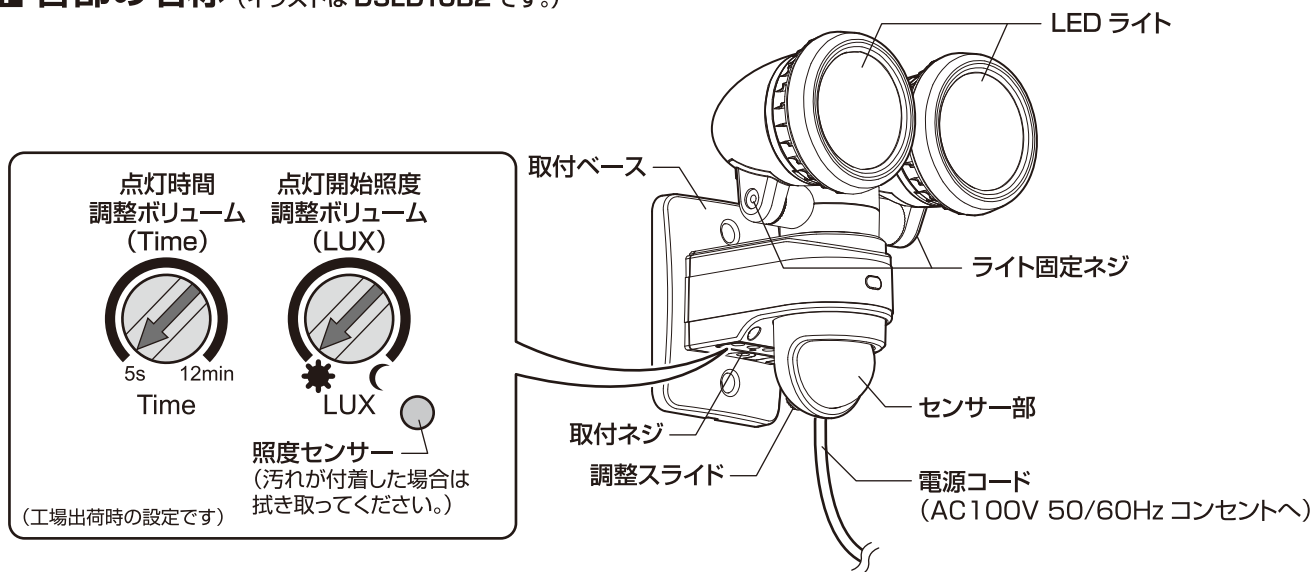
電波を発生する機器の近くに設置しない  
電波によりセンサーが誤動作するおそれがあります。

お手入れは、柔らかい布で乾拭きか、薄めた中性洗剤に浸してかたく絞った布で行ない、ベンジン、アルコール、シンナーなどの薬品は使わない  
変色、変形、変質の原因となります。

**【その他のご注意】**

- 本製品は自動照明、一般照明、来客、通報、威嚇照明として使用する目的以外では使用しないでください。  
なお、空巢、強盗、変質者の侵入等による損失、損害等に関しましては当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源コード(約3m)を延長したり切断する場合は、工事店にご相談ください。
- 照明器具には寿命があります。時間の経過とともに、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。

## 1 各部の名称 (イラストは DSLD10B2 です。)



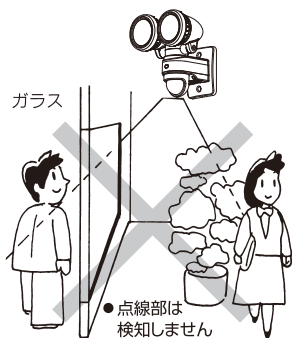
## 2 取付場所を決めるときの注意

センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車等の物体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなつたり、誤動作する原因となります。

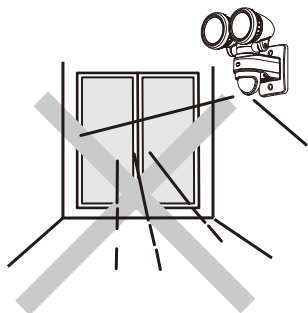
### 検知しない

取付場所を変更してください。

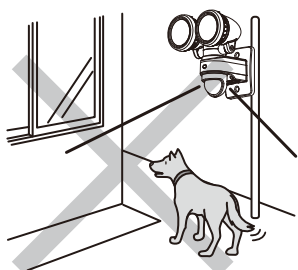
- 検知エリア内に障害物がある (植木、ガラスなど)



- 検知エリアが窓に向いている



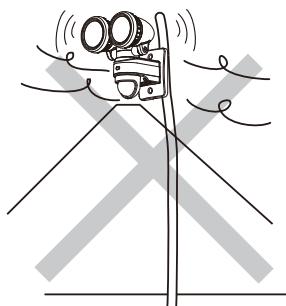
- 検知エリア内に動くものがある (カーテン、猫、犬、自動車など)



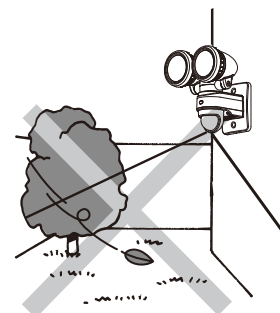
### 誤動作する

センサーが誤動作する恐れがありますので、下記のような場合は取付場所、または検知エリアの向きを変更してください。

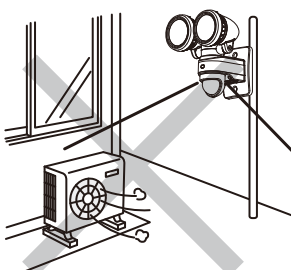
- 不安定なポールや壁面に取付 (検知エリアが定まらない)



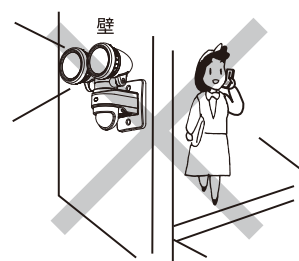
- 検知エリア内が木に向いている



- 検知エリア内で急激な温度変化がある (エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など)

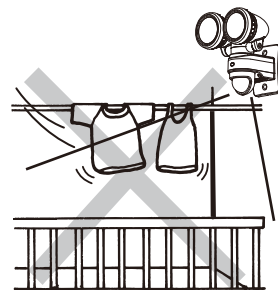


- センサーライトの周辺 (壁ごしを含む) で携帯電話などの移动通信機器を使用

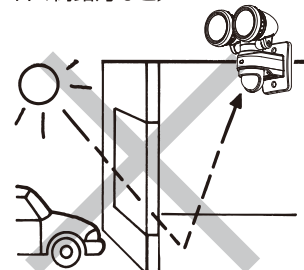


注) 1m以上離れてください

- 検知エリア内に洗濯物がある



- 直射光、反射光が当たる (太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など)



### 3 本体を取り付ける

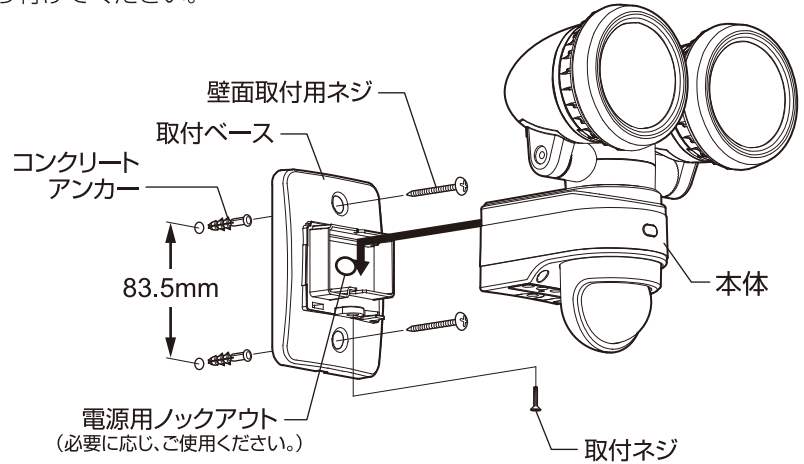
取付け高さは 1.8 ~ 2.5m の間に取り付けてください。軒下等、直接風雨の当たらない場所をおすすめします。

「4 検知エリアを調節する」(次ページ)を参考に取付けてください。

#### 【壁面取付】

壁面に取り付ける場合は、付属の壁面取付用ネジ2本と、必要に応じて付属のコンクリートアンカー2本を使用して、図のように取付けてください。

- ① 本体と取付ベースを固定している取付ネジをはずして本体と取付ベースを分離します。
- ② 付属の壁面取付用ネジ2本を使用して取付ベースを壁面にしっかりと固定します。(必要に応じて付属のコンクリートアンカーをお使いください。)
- ③ 取付ベースに本体を取り付け、取付ネジでしっかりと固定します。



**!**

- 取付ベースは、強固で垂直な壁や角柱などに取り付けてください。
- 壁面に取り付けると、壁面に穴が開きます。事前に動作確認を十分に行なってから取付けてください。

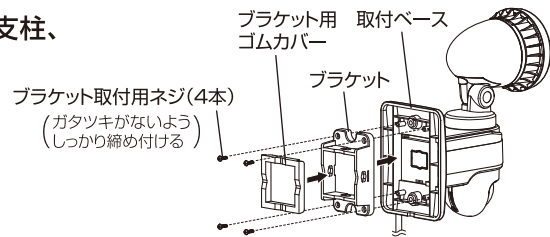
本製品は垂直方向にのみ設置することができます。(図2)のように水平方向には設置しないでください。

#### 【ポールや柱への取付】(別売金具 DSLDZ01B の説明)

別売の取付金具を使用すると、ポールや柱、カーポートの支柱、ベランダの手すりなどに取付けが可能です。

##### <はじめに：ブラケットを取り付ける>

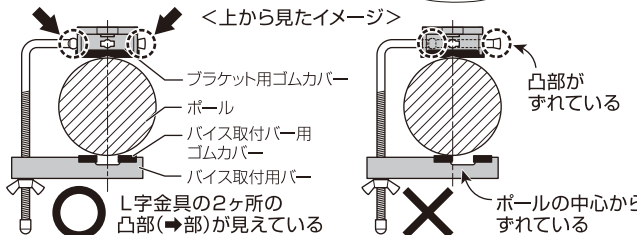
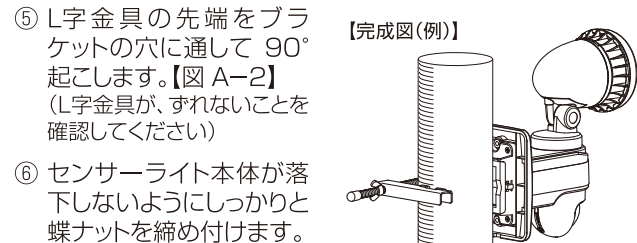
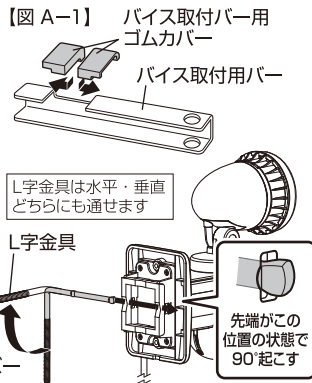
- ① ブラケットを付属のブラケット取付用ネジ4本で取付ベースの背面にしっかりと取り付けます。
- ② ブラケットにブラケット用ゴムカバーを被せます。



##### <L字金具による取付>

直径 50 ~ 100mm のポール、または横幅 60mm 以上 厚さ 50 ~ 100mm までの柱に取り付けることができます。

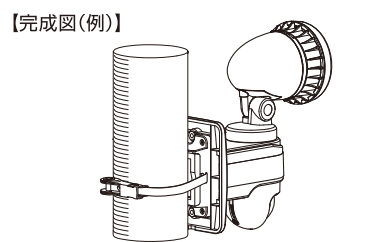
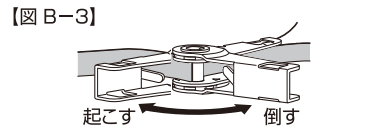
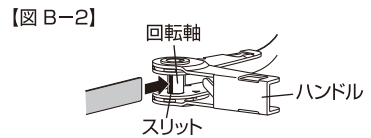
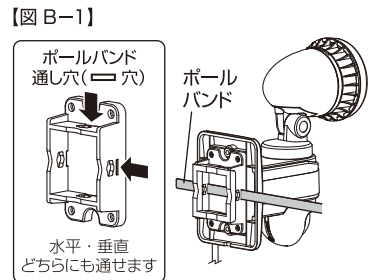
- ③ バイス取付用バーの図の部分にバイス取付用ゴムカバー2個を取り付けます。【図 A-1】
- ④ L字金具にバイス取付用バーの穴を通し、蝶ナットとL字金具用キャップを取り付けます。【図 A-2】
- ⑤ L字金具の先端をブラケットの穴に通して 90° 起こします。【図 A-2】(L字金具が、ずれないことを確認してください)
- ⑥ センサーライト本体が落下しないようにしっかりと蝶ナットを締め付けます。



##### <ポールバンドによる取付>

直径 50 ~ 200mm までのポールに取り付けることができます。

- ③ ブラケットの通し穴にポールバンドを差し込み、取り付けるポールに巻き付けます。【図 B-1】
- ④ ポールバンドを回転軸のスリットに通します。【図 B-2】
- ⑤ ハンドルを起こす・倒すの動作を繰り返して、ポールバンドをしっかりと締め付けます。【図 B-3】
- ⑥ ハンドルを閉じて、カチンとはまるまで押し込みます。



注) しっかりと押し込まれていないと落下するおそれがあります。

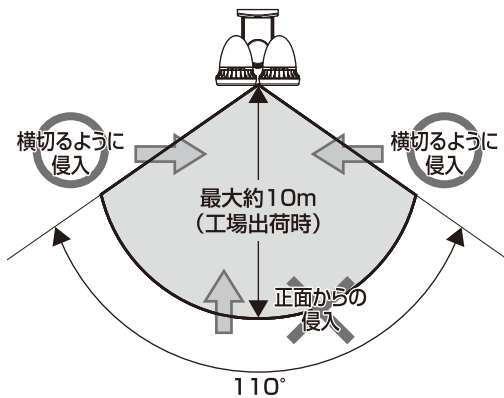
## 4 検知エリアを調節する

下図の検知エリアは取付高さ2m の場合の目安です。図を参考にセンサー部の向きを調整スライドで調節してください。  
(工場出荷時、センサー部は上向き最大です。)

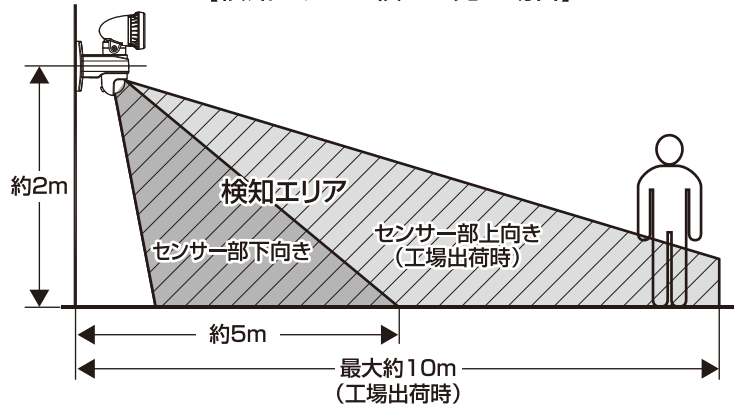
電源を入れた直後から約 45 秒間は調整ができません。動作確認をするときは「6 動作テスト」(P.6 ページ)を参照ください。

### ◆検知エリアの目安

【検知エリアを上から見た場合】



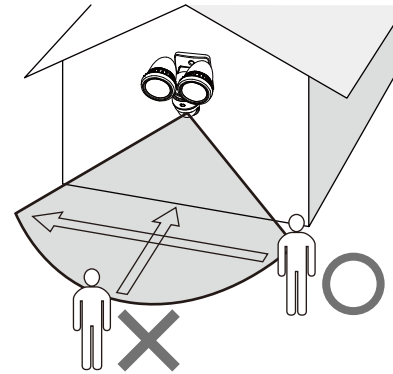
【検知エリアを横から見た場合】



- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、センサーに対して人が正面から近づくと、検知距離が極端に短くなります。

#### ご注意

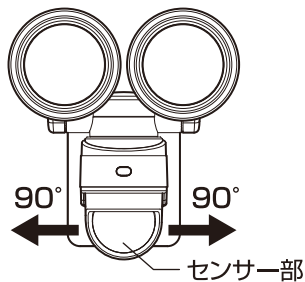
- 夏季や、衣服に雨や雪が付着している場合は、検知しにくい場合があります。
- 取付位置を変えると検知エリアは変動します。実際の使用環境に応じてセンサー部の向きを再調整してください。



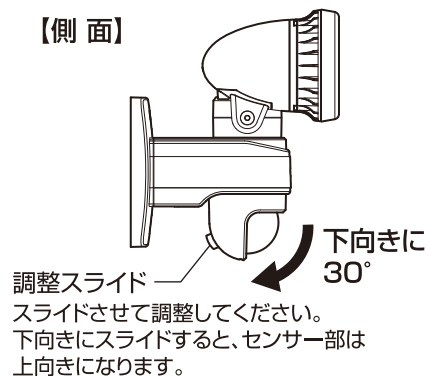
## 5 調整方法 (1灯型も同様です。)

### ◆センサー部の調整

【正面】

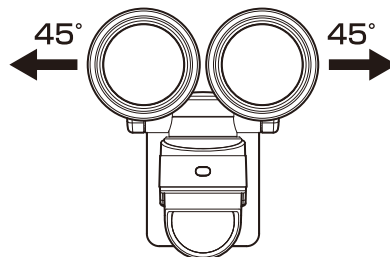


【側面】

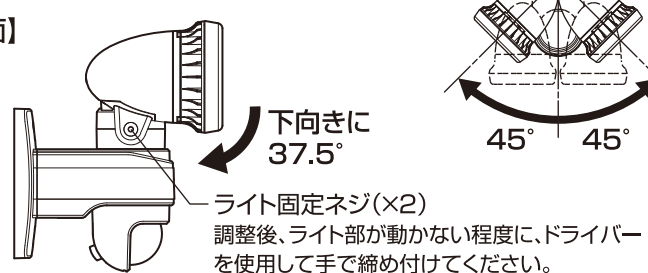


### ◆ライト部の調整

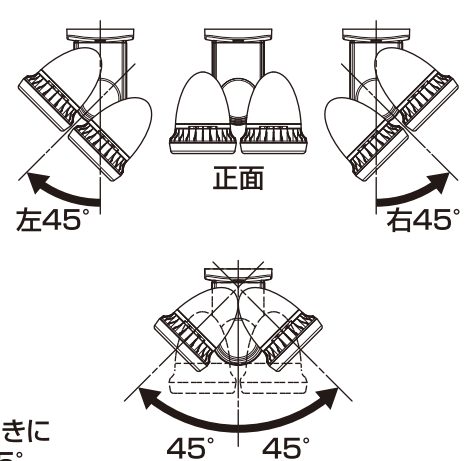
【正面】



【側面】



【上から見た図】



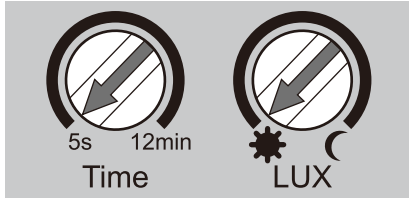
可動範囲以上に曲げないでください。製品が破損するおそれがあります。



- 本製品のセンサーは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりと温度が変化する、また、急激に温度が変化する場合は、検知動作しないことがあります。
- センサー部のレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。またホコリが付着した場合は柔らかい布で拭き取ってください。検知感度が低下したり、検知エリアが変化したりします。

## 6 動作テスト

- ① 各調整ボリュームを反時計方向いっぱいまで回す  
(工場出荷時)



点灯時間調整ボリューム  
点灯開始照度調整ボリューム

- ② AC100V コンセントに電源プラグを接続する

電源を接続するとライトが点灯します。  
ランプの点灯が約 45 秒間続きます。その間は検知しません(45 秒間はウォームアップ動作となります)。  
約 45 秒後に消灯し、自動的に検知エリア内の人を検知して点灯する状態になります。(下記「通常動作の流れ」参照)

### ■ 通常動作の流れ



注) 連続で抜き差しした場合には、ウォームアップ動作をしないときがあります。

- ③ 動作テストを行なう

検知エリア内を歩いたり立ち止まったりしながら動作テストを行います。歩いたときにライトが点灯し、立ち止まったときに指定の点灯時間が経過後、消灯することを確認します。

※点灯動作後に再び動き出すときは、ライトが消灯するまで待ってください。

- ④ センサー部を調節する

人体を検知させたい領域内をカバーできるように、センサー部を調整します。

検知エリアを狭くする	調整スライドを上にする (センサー部を下向きにする)
検知エリアを広くする	調整スライドを下にする (センサー部を上向きにする)

注) 検知エリアの距離は調整できますが、横幅は調整できません。

## 7 点灯時間・点灯開始照度・連続点灯の設定

### ◆点灯時間の調整

「点灯時間」とは…

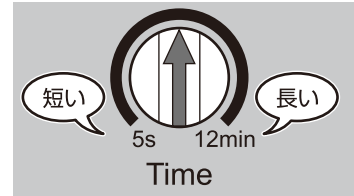
ライトが点灯してから、消灯するまでの時間です。約5秒～12分の間で調整できます。

点灯時間調整ボリュームを使って調整する

点灯時間を長くする(約 12 分間)	時計回りに矢印を「12min」まで回す
点灯時間を短くする(約 5 秒間)	反時計回りに矢印を「5s」まで回す

注) おおよその設定です。

検知エリア内で人が動き続けるとセンサーが再検知して点灯時間は延長されます。



### ◆点灯開始照度(明るさ感度)の調整 ※ご使用環境に応じてお好みの暗さで点灯するように調整してください。

「点灯開始照度」とは…

センサーが検出を開始する明るさの感度(周囲の明るさのレベル)です。調整できる点灯開始照度の範囲は約 30lx ~ 200lx です。「★」に設定した場合は、200lx 以上の明るさでも点灯します。

点灯開始照度調整ボリュームを使って調整する

* 暗いときに点灯させる(約 30lx)	時計回りに矢印を「☾」まで回す
** 明るいときに点灯させる(約 200lx 以上)	反時計回りに矢印を「★」まで回す

注) \* 「☾」側のときは、周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るい時間は点灯しません。

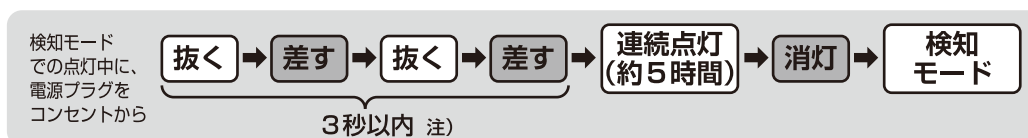
\*\* 「★」側のときは、周囲の明るさに関係なく、センサーが検知すると点灯します。



### ◆連続点灯モードについて

- 検知に関係なく、約5時間連続点灯させることができます。連続点灯後、通常の検知モードに戻ります。また、連続点灯を途中で解除することもできます。その場合は下記「連続点灯モード解除の流れ」に従ってください。

#### ■ 連続点灯モードの流れ



注) 連続点灯モードの確認

点灯時間の設定時間以上点灯していると連続点灯モードになっています。設定時間以上点灯していることを確認してください。

#### ■ 連続点灯モード解除の流れ



## 8 故障と判断する前に

- 故障と判断する前に、以下の点をご確認ください。
- 気温や天候等の気象条件の変化により、センサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。時間をおいて再度確認してください。

症状	原因	対処
電源プラグをコンセントに差し込んでも点灯しない	電源が正しく供給されていない	コンセントのスイッチやブレーカーなどがオンになっていることを確認してください。
人がいるのに点灯しない (急に点灯しなくなった)	人が検知エリアに入っていない	検知距離や検知エリアの角度を調節してください(※5 ページ)。
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても人が動かないと点灯しないことがあります。
	人が正面から近づいている	センサーに対して人が正面から近づくと検知しにくくなります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。
	寒いときや雨降りのときで、人がマフラーや傘などで覆われている	センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、温度変化が小さい場合検知しないことがあります。検知エリアの角度を調節するか、取り付け場所を変更してください(※5 ページ)。
	夏季など周囲の温度と人体表面温度との差が少ない	同上
	人が非常にゆっくりとした速度で検知エリアに進入している	同上
	検知エリアが遮られている	センサーの前にガラスや壁などの遮へい物があると人を検知できません。検知距離や検知エリアの角度を調節するか、取り付け場所を変更してください(※5 ページ)。
周囲が明るい(夜でも周囲に街路灯などの照明器具がある)	点灯開始照度を変更してください(※6 ページ)。	
人がいるのに消灯する	人が動いていない	検知エリア内に人がいても人が動かないと点灯しません。
	点灯時間が短い	点灯時間を長くしてください(※6 ページ)。
	人が検知エリアに入っていない	検知距離や検知エリアの角度を調節してください(※5 ページ)。
人がいないのに消灯しない (点灯したままになる)	電源プラグを差し込んだあとのウォームアップ中である	ウォームアップが終了するまで、検知エリアの外でお待ちください(※6 ページ)。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けているため、点灯時間が延長されている	検知距離や検知エリアの角度を調節するか、取り付け場所を変更してください(※5 ページ)。
	連続点灯モードになっている	連続点灯モードを解除してください(※6 ページ)。
人がいないのに点灯する	検知エリア内に木や旗、通行する車両などの動く物がある	検知エリア内に動く物があると、検知して点灯することがあります(検知エリア内に犬や猫などが入っても点灯することがあります)。動く物を取り除くか、取り付け場所を変更してください(※3 ページ)。
	検知エリア内に熱源や風を出す物がある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物(エアコンの室外機、換気扇など)があると点灯することがあります。障害物を取り除くか、取り付け場所を変更してください(※3 ページ)。
	検知エリアの延長線上に動く物がある	熱源となる大きな物(車など)が検知エリアの延長線上を通過すると検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わることがあります。取り付け場所を変更してください。
	風や車両の通行で、本製品を取り付けている柱などが振動している	振動の影響を受けない物に取り付けてください。
昼間なのに点灯する	点灯開始照度が「★」に設定されている	「点灯開始照度調節ボリューム」を「☾」側に設定してください(※6 ページ)。
	ウォームアップ動作中になっている	約 45 秒間待って、消灯することを確認してください。
	照度センサーに汚れが付着している	汚れを拭きとってください(※3 ページ)。
ライトが点滅する (点灯したり消灯したりを繰り返す)	本製品の照射方向に光を反射する物がある	反射した光をセンサーが検知して誤動作することがあります。光を反射する物を取り除くか、取り付け場所を変更してください。
ライトが点灯してもすぐに消える	点灯時間が「5s」に設定されている	「点灯時間調節ボリューム」を「12min」側に設定してください(※6 ページ)。
	本製品の照射方向に光を反射する物がある	反射した光をセンサーが検知して誤動作することがあります。光を反射する物を取り除くか、取り付け場所を変更してください。

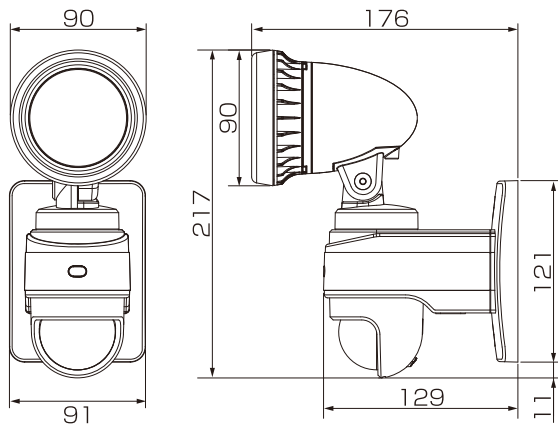
## 9 仕様

品名	LEDセンサーライト(1灯型)	LEDセンサーライト(2灯型)
型番	DSLSD10B1	DSLSD10B2
電源電圧	AC100V、50/60Hz	
消費電力	10W	20W
全光束	450lm	900lm
色温度	5000K	
照射調節角度	左方向・右方向 45°(2灯型はライトごとに調節可能) / 下方向 37.5°	
センサー調節角度	左方向・右方向 90° / 下方向 30°	
検知方式	パッシブインフラレッド(PIR)方式	
検知エリア	水平約 110°・距離約 10m まで(高さ 2m に設置時、最大時目安)	
点灯開始照度	約 30lx ~ 200lx、または約 200lx 以上 ボリュームにより可変	
点灯時間	約 5秒 ~ 12分 ボリュームにより可変	
点灯モード	検知モード、連続点灯モード(約 5 時間)	
取付高さ	1.8 ~ 2.5m	
使用温度範囲	-10 ~ +40℃(結露なきこと)	
耐水性	IP44(防沫型)[推奨設置場所: 軒下]	
電源コード長	約 3m(プラグ付)	
外形寸法(W×H×D)	91×217×176mm	185×201×167mm
質量(電源コード含む)	0.75kg	1.05kg
付属品	壁面取付用ネジ×2、コンクリートアンカー×2	

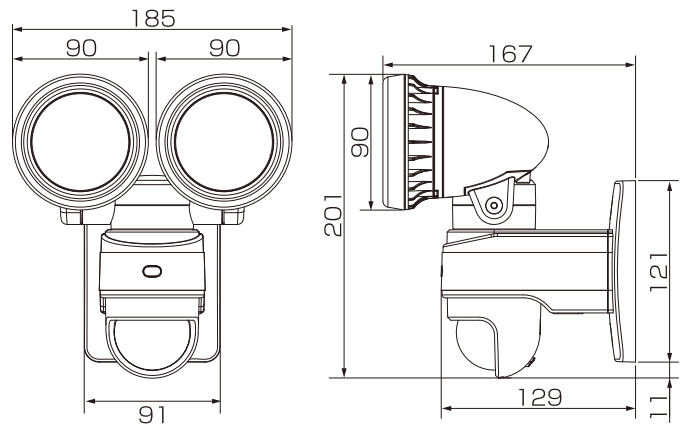
※LEDの交換はできません。 ※個々のLEDにより色味が異なる場合があります。

## 10 外形寸法 (単位: mm)

DSLSD10B1(1灯型)



DSLSD10B2(2灯型)



※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

## 保証書

型番	
<input type="checkbox"/> DSLSD10B1	<input type="checkbox"/> DSLSD10B2
ご住所・ご店名	
電話( ) -	
ふりがな	
様	
電話( ) -	
お買上年月日	保証期間
年 月 日	1 年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

### ●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
  - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
  - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
  - 本保証書を提示・添付されていない場合。
  - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター ☎0120-941-542 携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079 (受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

お昼時間もお土・日・祝日もご利用ください!

DXアンテナ株式会社

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1404)